

2022 年度まさこ基金助成審査会報告

日時：2022 年 6 月 23 日（木）21 時～22 時 8 分

場所：Zoom によるオンライン開催

出席：土井、岩岸、大阿久、友沢、橋本、尾崎、栗岡

青木（オブザーバー・事務局）

2022 年度の応募者および事業名は、以下のとおり。

No.	氏名	年齢	事業名称
1	渡瀬麻友子	32	小学校児童を対象とした喫煙防止教育のあり方の検討
2	浅井 泰詞	39	マスクの着用はサードHANDSモークを助長するか？
3	小野龍太郎	33	歯科用 X 線写真の禁煙支援ツールとしての有効性
4	吉原 伸弥	35	タクシー運転手を対象とする、乗客の車内喫煙企図状況および本人の喫煙状況についてのアンケート調査

協議事項

1) 助成対象者としての適格性

応募者の年齢は 39 歳以下で助成対象の条件を満たしている。内容については、タバココントロールに関わる研究であるので、助成対象として適当である。申請書の内容および方法については倫理的・論理的問題はないと思われる。

2) 事業内容の吟味

あらかじめ別記の審査基準に基づき、各審査委員が 5 項目の評点をつけ、審査意見を付記した（Excel ファイル参照）。それに基づいて意見交換を行った。

1. 喫煙防止教育における情報提供の内容と方法について、テキストマイニングという方法で対象者の関心事に関連付けた情報提供を行うというアプローチは意義がある。

2. 喫煙者の装着しているマスクがサードHANDSモークを起こすかどうかを検討するユニークな研究である。喫煙者が実際にどのような頻度でマスクを交換しているのかも今まで明らかにされていない。

3. 歯周病の進展度を歯槽骨密度で数値化して、喫煙による歯槽骨密度への影響を明らかにし、禁煙支援に役立てるという研究でタバココントロールへの貢献が大いに期待される。

4. タクシー乗務員に対して、乗客の新型タバコを含む車内喫煙企図状況と乗務員本人の喫煙状況を調査するという研究で、改正健康増進法施行後のタクシー車内の喫煙実態が明らかになることでタクシー車内の喫煙対策に資することが期待される。

3) 助成金額の検討・決定

1. については、参加費・旅費および校正費等の詳述がされていないこと、禁煙学会は

オンライン開催であること、応募者が医師であることを考慮して、参加費、校正費については半額を助成するという事で委員の意見が一致した。

2. については喫煙者の装着したマスクの残留タバコ成分を測定する課題 1 に対する助成のみでよいのではないかという意見が多かったが、インターネット調査の課題 2 を並行して行うことも意義があるとして、調査費用の一部（200 サンプル相当）を助成することになった。

3、4. については、経費の内容は妥当と思われるため 3 については申請額どおり、4 については助成基準限度額の 100,000 円を助成することで委員の意見が一致した。

以上より、助成金額（円）は以下のとおりとすることを提案する。

1. 50,000 2. 95,994 3. 62,800 4. 10,000 合計金額 308,794

上記について第三者委員である中村正和先生（公益社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長）から、「小野先生の申請書にはすでに倫理委員会にかけて承認を得た旨の記載があったが、他の 3 人の申請書には倫理委員会で承認を得る旨の記載がなかったので、その点を確認した上で研究助成を行うことが必要ではないか」という旨の意見をいただき、各応募事業に対する倫理委員会の承認について問い合わせ、倫理的問題のないことを確認した。